

「改定常用漢字表」に関する試案（字種・音訓等）の修正（案）

1 字種について

- 「改定常用漢字表」に関する試案（＝2,136字種）から基本的に変更なし。
→ 「玻」「碍」「鷹」の扱いについては、配布資料4を参照。

2 音訓・備考欄について

- 音訓の追加
→ 「剝」に訓「はげる」「はがれる」を追加。
- 音訓の削除
→① 「媛」の訓「ひめ」, 「阪」の訓「さか」を削除し, 備考欄に県名を「愛媛（えひめ）県」, 「大阪（おおさか）府」という形で追加。
→② 「鳥」の備考欄に, 「鳥取（とっとり）県」という形で追加。
- 備考欄の「*」の後に, 参照すべきページ数を入れる。
→① 「*」を「*[(18)ページ参照]と記述（←例示にある字）。
→② 「*」を「*[(18)ページ【剝】参照]と記述（←例示にない字）。

3 語例について

- 語例の追加
→① 「韓」に「韓国」を追加。
→② 「破」に「破棄」, 「屈」に「理屈」を追加（←「毀」「窟」）。
- 語例の削除
→「従って（接続詞）」を削除（←「公用文における表記」）。
- 語例の変更
→訓「たぐい」の語例「類, ○○の類」を「類い, ○○の類い」と変更。

4 字体・その他

- 字体及び名称については変更しない。
- 漢字表に掲げた明朝体の字形を修正
→① 現行常用漢字表の掲出字形との整合を図る（←「医」「返」等）。
→② 「龜」の康熙体字形を修正（←「龜」を「龜」に修正）
- 漢字表の配列順の若干の手直し（←「畏」「威」「胃」「為」の配列順等）。
- 「異字同訓」の漢字の用法例（追加字種・追加音訓関連）の修正等。
→① 「小説を作る」を「詩を作る」に変更。
→② 「わく（沸く・湧く）」を項目に追加。
→③ 「かける（掛ける・懸ける・架ける・賭ける）」を項目に追加。